

中小企業のための

法務講座

香港にある資産の相続

日本人が香港でビジネスをしたり、香港銀行に預金したり、香港に投資する人が増えるにつれ、相続の相談を受けやすくなっています。今回のコラムでは香港にある資産の相続についてご説明します。

執行者や受益者は法律の定めに従って決定することとなります。内縁の妻や前妻、私生児の有無などの調査が必要となります。

①亡くなった日 6月2月11日以降ならば相続税は不要です。その日以前ならば、相続税がかかるため税務局での手続きが必要となります。

②相続の執行者の選定 遺言がある場合には遺言の中で指名された執行者(Executor)が相続の手続きを行います。遺言がない場合は法律の定めに従って執行者が決定されます。

③親 遺言がない場合には以下の順番で執行者となり、その配分が決定されます。①配偶者あるいは1971年までの間に内縁の妻または夫であった者(1971年までは内縁の妻または夫に対して法的な立場が認められていない)

②子供あるいは内縁の妻または夫との間の子供(Executor)が相続の手続きを行います。遺言がない場合は法律の定めに従って執行者が決定されます。この規定は複雑なためここでは割愛します。

③相続財産の確定 相続の対象となる財産を確定します。相続額が50万ドル以下、なおかつ銀行の預金や現金などのシ

④兄弟姉妹 遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

⑤兄弟姉妹 遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

⑥兄弟姉妹 遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

香港からの相続は長期戦を覚悟した方がいいでしょう。理由は以下の3点です。 相続手続きのための調査を香港だけでなく日本でも行わなければならないため通常の2倍の時間がかかります。日本における相続手続きや有無などの調査は、他国の相続承継が徹底的に調査し、また、証明書類と必要書類を揃える必要があり、別途お金と時間がかかります。

香港からの相続は長期戦を覚悟した方がいいでしょう。理由は以下の3点です。 相続手続きのための調査を香港だけでなく日本でも行わなければならないため通常の2倍の時間がかかります。日本における相続手続きや有無などの調査は、他国の相続承継が徹底的に調査し、また、証明書類と必要書類を揃える必要があり、別途お金と時間がかかります。

香港からの相続は長期戦を覚悟した方がいいでしょう。理由は以下の3点です。 相続手続きのための調査を香港だけでなく日本でも行わなければならないため通常の2倍の時間がかかります。日本における相続手続きや有無などの調査は、他国の相続承継が徹底的に調査し、また、証明書類と必要書類を揃える必要があり、別途お金と時間がかかります。

香港からの相続は長期戦を覚悟した方がいいでしょう。理由は以下の3点です。 相続手続きのための調査を香港だけでなく日本でも行わなければならないため通常の2倍の時間がかかります。日本における相続手続きや有無などの調査は、他国の相続承継が徹底的に調査し、また、証明書類と必要書類を揃える必要があり、別途お金と時間がかかります。

①遺言の有無 遺言があるかないかによって手続きの簡便さが異なります。香港に資産をお持ちの方は遺言の作成をお勧めします。法的に有効な遺言のある場合が有遺言死亡(Testate)、遺言のない場合が無遺言死亡(Intestate)です。遺言がある場合は、相続



香港貿易発展局(HKTD)の日本向けプロモーション「Think Global Think Hong Kong」で相談者との相談の様子

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

遺言がない場合には以下の順番で受益者およびその配分が決定されます。これは上記の順位があるため、上記の順位が取り上げられます。

サッカーセブンズ

ニューカッスルが初優勝



毎年5月恒例の7人制サッカーの国際大会「The HK FC Citibank International Soccer 7's 2012」が5月18~20日、香港フットボールクラブで開催された。今年も各地のプロ、アマのクラブ16チームが参戦。突然の雷雨に見舞われるなどあいにくの天候ながら熱戦を繰り広げた。

プロチームの若手プレーヤーが出場するメーノートーナメントで今年最も注目されたのは初参加となったニューカッスル・ユナイテッド。大会常連で優勝は5回というアストン・ビラとぶつかった決勝ではオウンゴールも飛び出したものの2対1で下し、ニューカッスルが初優勝を飾った。Willie Donachie監督は試合後「優勝なんて信じられない。選手たちは若く、苦戦が予想されたが、よくやってくれた」と評価。「今回は選手の闘士と適応能力を証明する素晴らしい選征になった。来年もぜひ参加したい」と喜びを語った。

一方、セブンズのもう一つマスタートーナメントで活躍した元イングランド代表のTeddy Sheringham(写真提供: Andy Jones / The Power of Sport Images for HKFC)の呼びかけであるマスタートーナメントは、AEGONアジャックス・オールスターズが6ゴールという大量得点でトップクラスFCを破ってチャンピオンに輝いた。

ブラジル出身の香港代表 スター選手が現役引退



香港リーグが5月末に開幕し、香港代表としても活躍したブラジル出身のクリスティアーノ・コルデイロ・ブレグチャットが引退した。クリスは南米、最盛時に所属し、14年にわたり香港でプレー、MVPやベストイレブンにも選ばれたスター選手だった。6月3日の引退試合には多くのサポーターが詰め掛け、拍手を送った。今後は故郷で後進の指導にあたるという。

ANDY CHENG 弁護士 アンディ・チェン法律事務所代表 米系法律事務所から独立し開業。企業向けの法律相談・契約書作成を得意とする。香港大学法律学科卒業。慶應義塾大学へ留学後、在港日本国総領事館勤務の経験もありジェトロ相談員も務めている。日本語堪能 www.andysolicitor.com info@andysolicitor.com

香港サイド 香港の主要な商業施設、スーパーマーケット、レストラン、ホテルのリスト。Great Supermarket Food Hall, The Mall Pacific Place, TASTE Supermarket, etc.